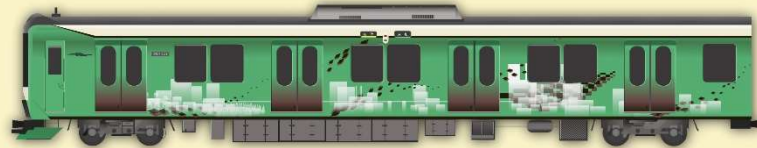
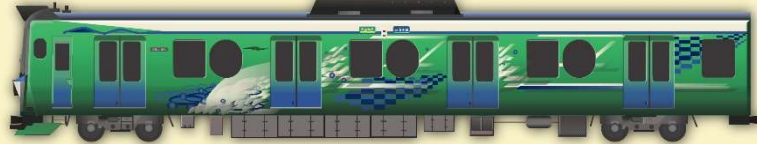


新型電車、1070系/9030系デビュー!



2022年度に予定されている都営三田線の8連化に際し、当初当社では現行の1000系電車に連結する形で1050系の2連を製造することで8連化を実施する(1050系に関しては8連で落成済み)予定でしたが、東京都交通局、東急電鉄、相模鉄道といった直通先の各社局と協議の上、編成の統一性の観点から都営三田線に直通する車両に関しては8連固定編成で統一することとなりました。

そのため、1000系電車を改造し中間新造車両2両を含む8連固定編成の「1070系」とするとともに、車体を転用して地上線用の新世代ロケットカー「9030系」を製造、6000系の置き換えを行っていきます。

2021年9月6日 奥武鉄道

1070 系

編成: 8 両編成(暫定的に 6 両編成)

軌間: 1067mm

電軌方式: 直流 1500V(架空電車線方式)

最高運転速度: 奥武線内 120km/h

三田線内 120km/h(急行線), 80km/h(緩行線)

東急線内 110km/h

設計最高速度: 130km/h

起動加速度: 3.5km/h/s

減速度(常用): 4.0km/h/s

減速度(非常): 6.0km/h/s

全長: 先頭車 20250mm

中間車 20000mm

全高: 4050mm パンタ付車両 4125mm

車体: アルミニウム合金(新造)

台車: 1000 系より転用(中間 2 両のみ新造)

駆動系: 1000 系より転用(中間 2 両のみ新造)

9030 系

編成: 6 両編成

軌間: 1067mm

電軌方式: 直流 1500V(架空電車線方式)

最高運転速度: 奥武線内 120km/h

設計最高速度: 130km/h

起動加速度: 7.5km/h/s

減速度(常用): 7.5km/h/s

減速度(非常): 9.0km/h/s

全長: 先頭車 20250mm

中間車 20000mm

全高: 4050mm パンタ付車両 4125mm

車体: アルミニウム合金

(1000 系より転用改造)

台車: 新造(1050 系相当)

駆動系: 新造(9000 系相当[ロケットカー])

新しい奥武通勤車のスタンダードを示す 2 つの改造車

新たな地下鉄直通車両となる 1070 系は 1000 系の台車、駆動系をそのままに(中間 2 両のみは 1050 系相当台車で新造)車体を新造、河本謙三インダストリアルデザインの手になる新たな車体は 1050 系を範として前面デザインにおけるアイボリーと“URAWA BLUE”の面積を増やし、より長く親しみやすい、温かみのある配色とした。

一方で地上線専用車両となる 9030 系は走行、駆動系を新たに新造(台車は 1050 系相当、駆動系は 9000 系相当)し、車体は 1000 系から転用したものを河本謙三インダストリアルデザインの監修によってリニューアル、地下鉄直通用の 1050 系や 1070 系と対を成す個性豊かな地上線用車両を目指した。カラーリングは 9000 系で採用されたエメラルドグリーンと濃淡の茶(“EARTH BROWN”と“HANIWA BROWN”)を踏襲しつつ、前面意匠は昭和期の奥武線車両のイメージへの回帰を図った。9000 系や 1000 系では控えめなデザインとなっていた前面斜めステンレス帯を復古調に変更、一方で前面下部にアクセント模様を入れ新時代に即した親しみやすいデザインを採り入れている。また車体側面はデザインを一新。どこかに奥武沿線の街並みを思わせるシルエットデザインとともに“EARTH BROWN”と“HANIWA BROWN”を散歩を舞う木の葉をイメージしたアクセントとして配置、令和期の通勤電車の新たなスタンダードを示した。

